

授業科目名	臨床看護概論 (リハビリテーション・放射線療法)	担当者	國本 貴弘、中板 聖騎 石谷 浩之
単位	—		
時間数	14時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	後期
	患者の病気の経過や患者と家族について理解し、状態に応じた看護、治療処置に伴う看護の概要について理解する。		
授業の概要	看護は対象の理解から始まることを理解させ、疾病にはそれぞれ経過があり、それぞれの経過に合った看護を学ぶ。また、患者・家族が身体・精神・社会的にどのような状況におかれ、どのような援助を必要とするのか、医療・看護の視点から多角的に学ぶ。疾病の経過、受療の場所、患者の症状、実施される治療・処置の側面から、臨床看護に必要な基本的知識を学ぶ。		
授業計画	<p>第1章 患者と家族の理解</p> <p>A. 医療を取り巻く環境の変化</p> <p>B. 患者の理解</p> <p>C. 家族の理解</p> <p>第2章 疾患の経過と患者の看護</p> <p>A. 急性期の患者の看護</p> <p>B. 慢性期の患者の看護</p> <p>C. 回復期・リハビリテーション期の患者の看護</p> <p>D. 終末期の患者の看護</p> <p>E. 各疾患の経過例</p> <p>第3章 さまざまな場における看護</p> <p>A. 外来医療における看護</p> <p>B. 入院医療における看護</p> <p>C. 在宅医療における看護</p> <p>D. 継続看護</p> <p>第4章 症状を示す患者の看護</p> <p>A. 全身症状を示す患者の看護</p> <p>B. 呼吸器症状を示す患者の看護</p> <p>C. 循環器症状を示す患者の看護</p> <p>D. 消化器症状を示す患者の看護</p> <p>E. 腎・泌尿器症状を示す患者の看護</p> <p>F. 脳・神経症状を示す患者の看護</p> <p>G. 精神症状を示す患者の看護</p> <p>第5章 治療・処置を受ける患者の看護</p> <p>A. 検査を受ける患者の看護</p> <p>B. 安静療法を受ける患者の看護</p> <p>C. 食事療法を受ける患者の看護</p> <p>D. 薬物療法を受ける患者の看護</p> <p>E. 輸液療法を受ける患者の看護</p> <p>F. 運動療法を受ける患者の看護</p> <p>G. 救急処置を受ける患者の看護</p> <p>H. 手術療法を受ける患者の看護</p> <p>I. 集中治療を受ける患者の看護</p> <p>J. 放射線療法を受ける患者の看護</p> <p>K. 透析療法を受ける患者の看護</p> <p>L. 精神療法を受ける患者の看護</p>		
テキスト	新看護学10 12 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験 リハビリテーション(60点)、放射線療法(40点)		